

島原道路(小野町～長野町)に関する検討会

第1回 検討会資料

令和6年12月20日

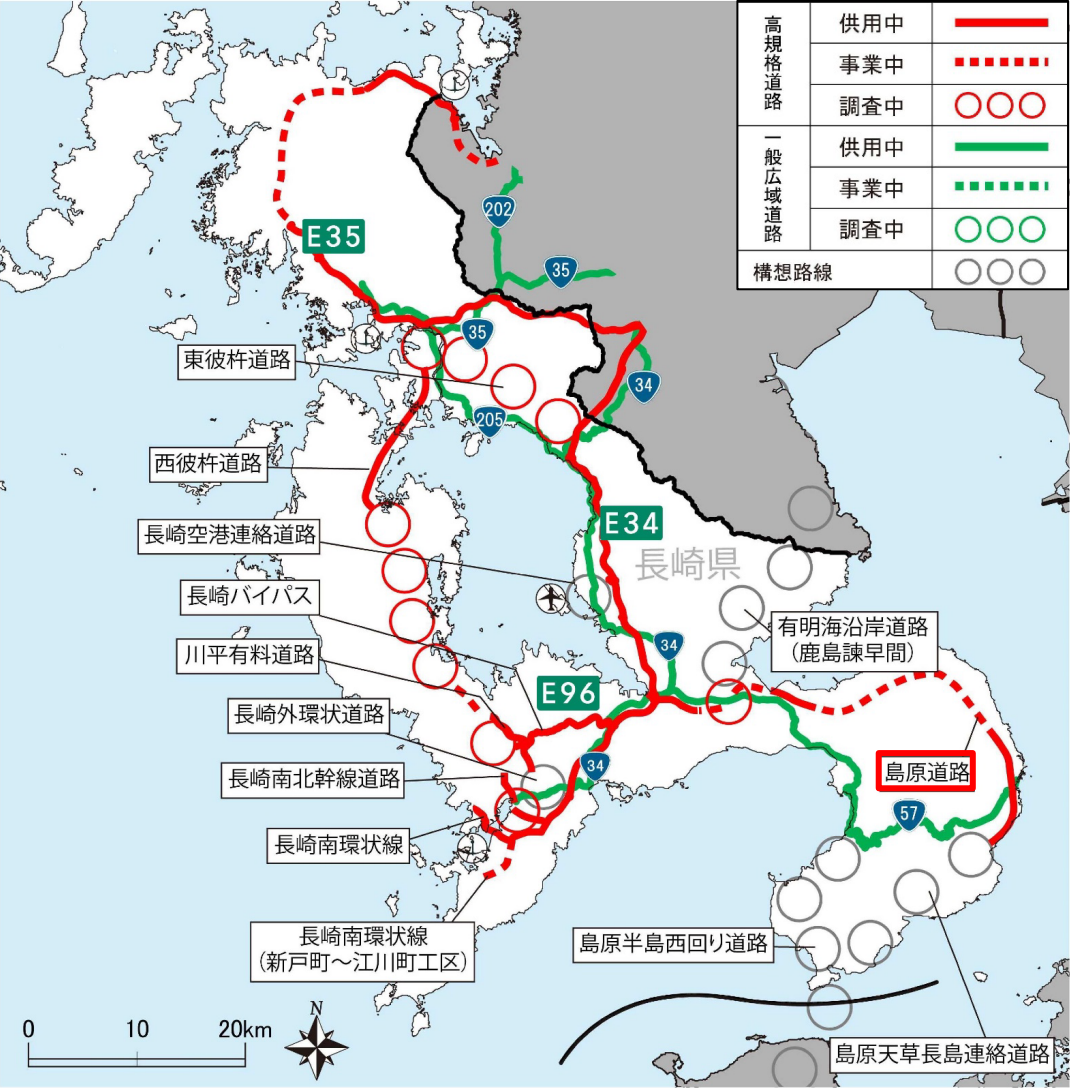
1. 道路ネットワークの現状	P2
2. 地域の現状	P6
3. 交通の現状	P14
4. 今後の進め方（案）	P19

1. 道路ネットワークの現状

(1) 長崎県新広域道路交通計画

・長崎県新広域道路交通計画において、島原道路は高規格道路として位置づけられている。

■ 新たな広域道路ネットワーク図



■ 広域道路ネットワーク路線一覧

路線名	分類	起点	終点
西彼杵道路	高規格道路	佐世保市	西彼杵郡時津町
長崎南北幹線道路	高規格道路	長崎市	西彼杵郡時津町
島原道路	高規格道路	南島原市	諫早市
長崎南環状線	高規格道路	長崎市	長崎市
東彼杵道路	高規格道路	佐世保市	東彼杵郡東彼杵町
長崎南環状線(新戸町～江川町工区)	高規格道路	長崎市	長崎市
長崎バイパス	高規格道路	諫早市	長崎市
川平有料道路	高規格道路	西彼杵郡時津町	長崎市
国道34号	一般広域道路	東彼杵郡東彼杵町	長崎市
国道35号	一般広域道路	佐世保市	佐世保市
国道57号	一般広域道路	島原市	長崎市
国道205号	一般広域道路	佐世保市	東彼杵郡東彼杵町
島原天草長島連絡道路	構想路線	南島原市	南島原市
有明海沿岸道路(鹿島諫早間)	構想路線	諫早市	諫早市
長崎外環状道路	構想路線	長崎市	長崎市
長崎空港連絡道路	構想路線	大村市	大村市
島原半島西回り道路	構想路線	雲仙市	南島原市

※高規格道路について、高規格幹線道路は標記していない

※起点・終点については、県内の起点・終点を記載

1. 道路ネットワークの現状

(2) 諫早市の交通ネットワーク整備方針

・諫早市の都市計画マスタープランにおいて、都市施設・交通ネットワーク整備方針が示されており、島原道路が位置付けられている。

■ 諫早市の都市施設・交通ネットワーク整備方針

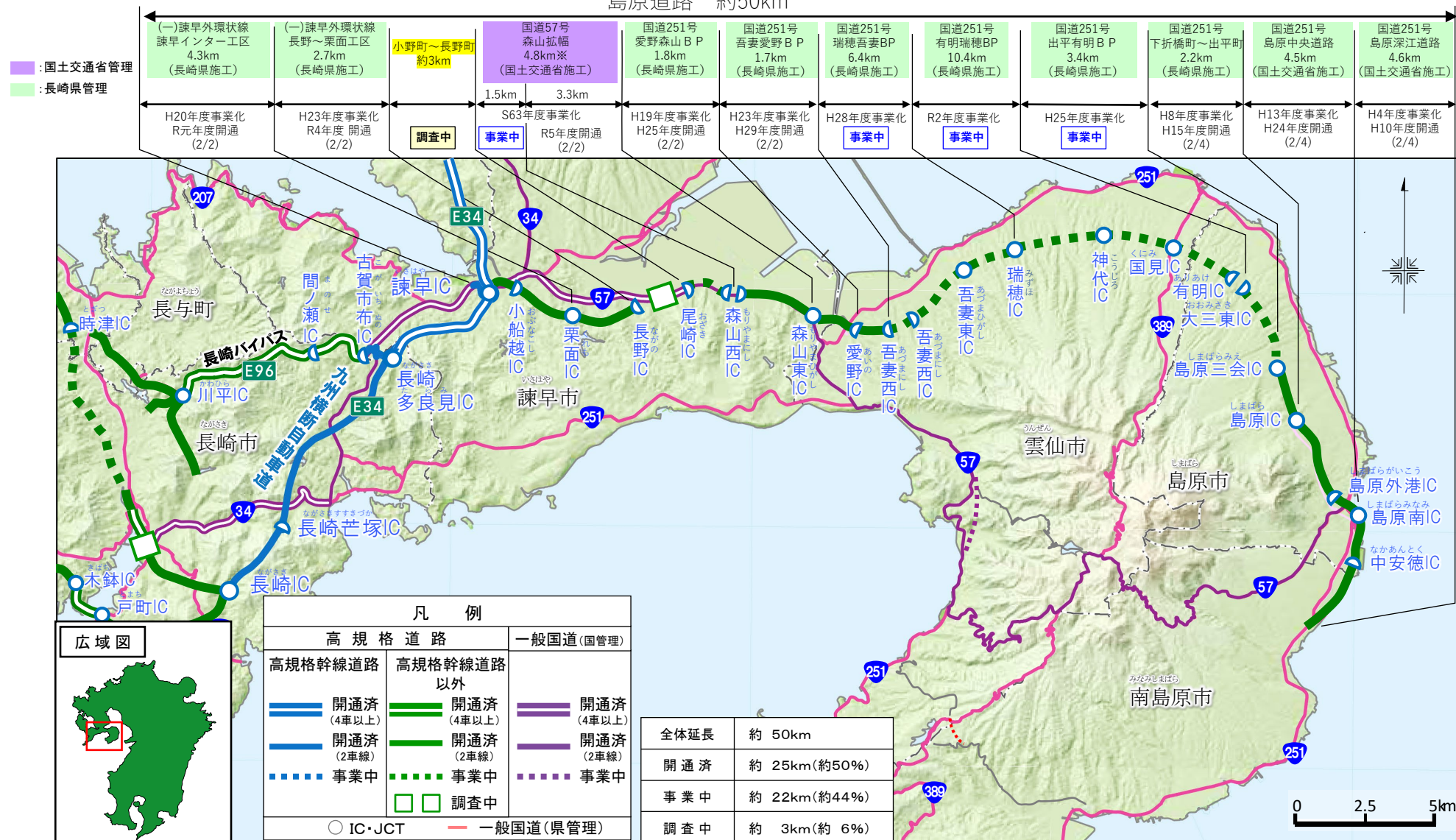


1. 道路ネットワークの現状

(3) 島原道路の整備状況

・全体延長約50kmのうち、開通済みが約50%、事業中が約44%、残る区間(小野町～長野町)約6%は調査中となっている。

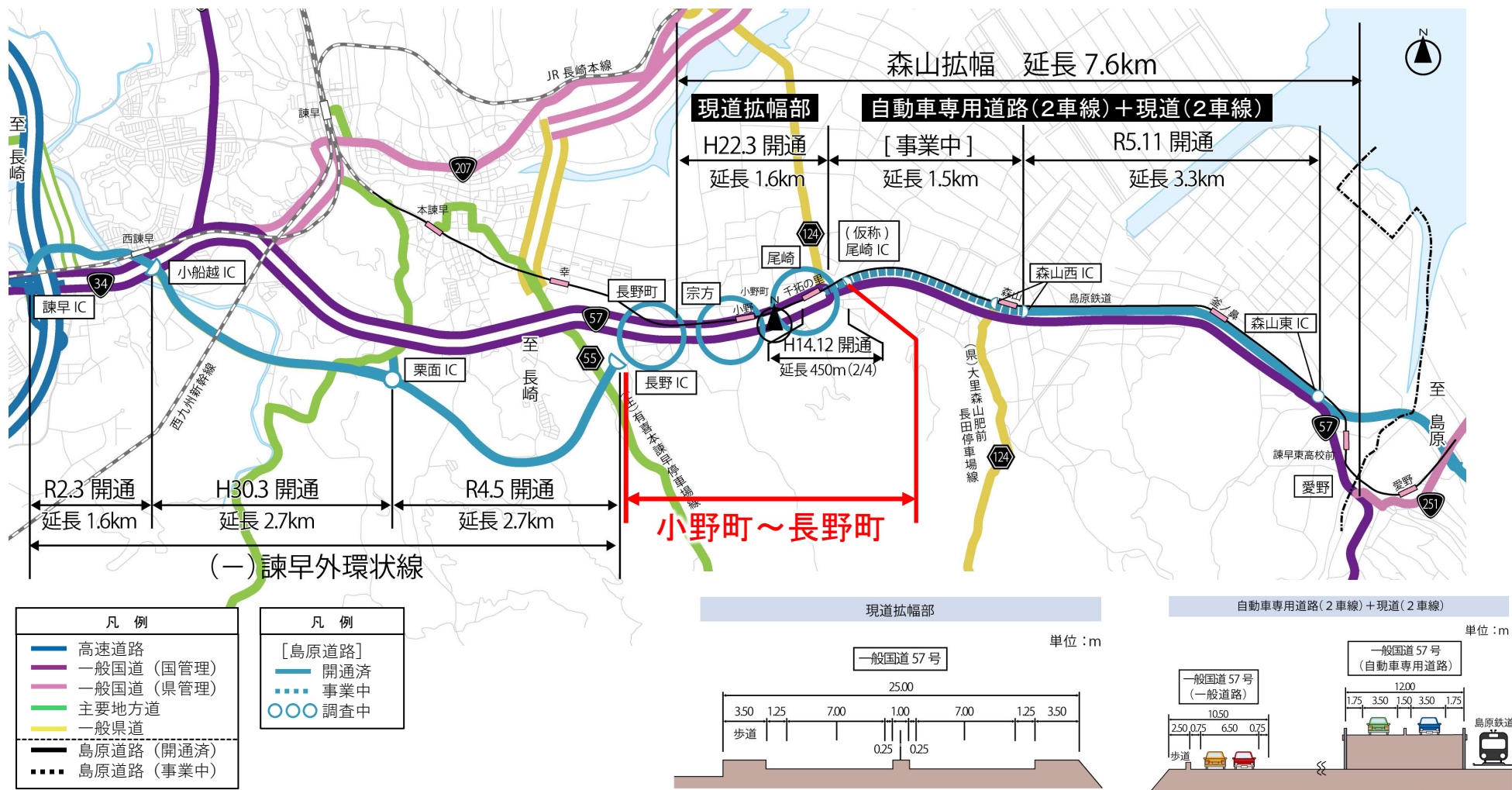
島原道路 約50km



1. 道路ネットワークの現状

(4) 島原道路（小野町～長野町）周辺の整備状況

- ・(一)諫早外環状線(長野IC～諫早IC)約7.0kmは令和4年5月までに順次開通済。
- ・国道57号森山拡幅の現道拡幅部(尾崎交差点～長野町交差点)は平成22年3月に開通済。自専道(2車)＋現道(2車)部分については、森山東IC～森山西ICが令和5年11月に開通しており、残る区間は工事推進中。

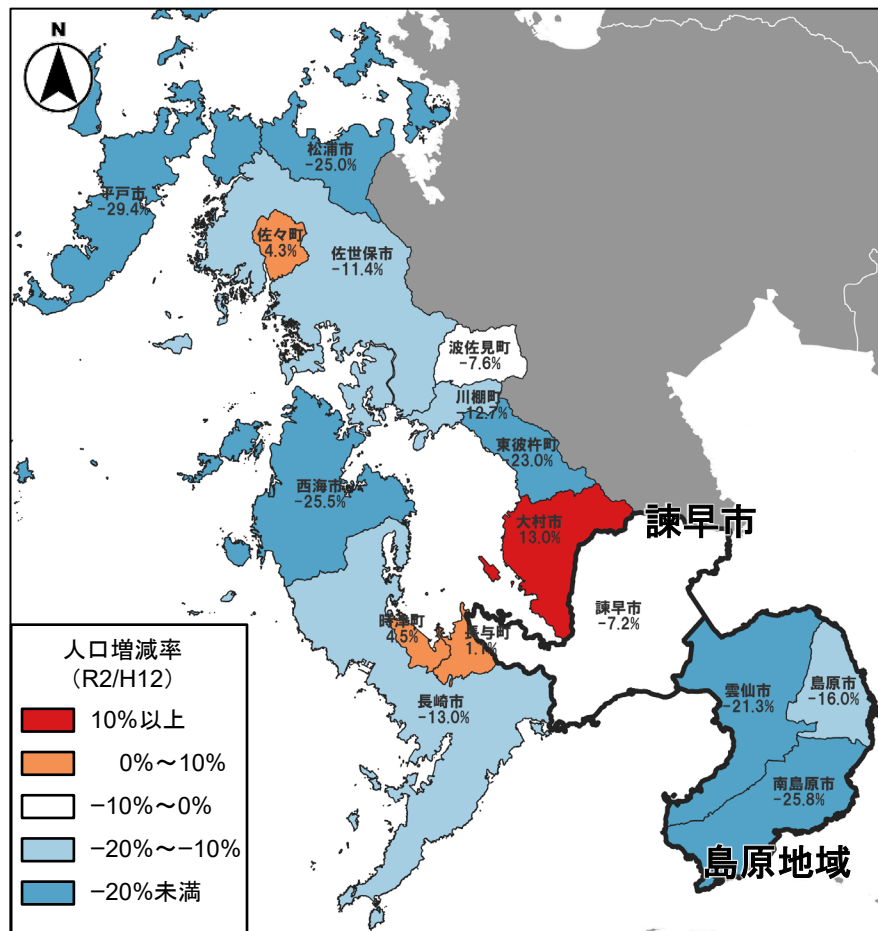


2. 地域の現状

(1) 人口、高齢化率の推移

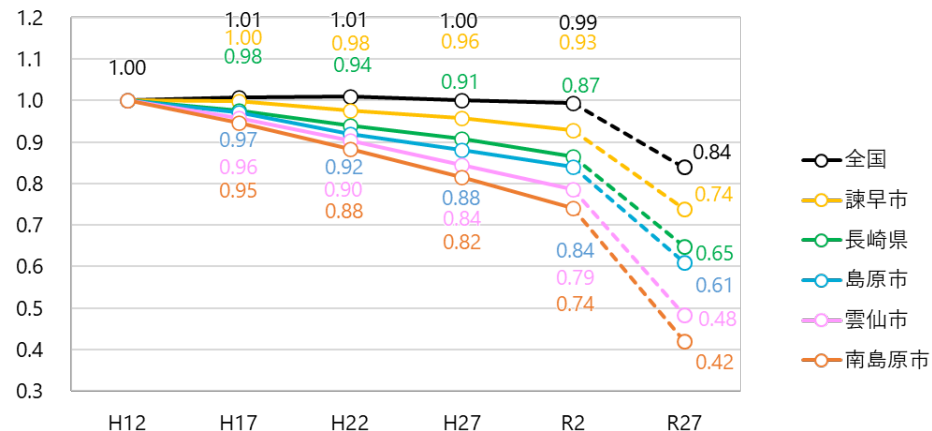
- ・島原地域では、人口減少が著しい。
- ・また、諫早市・島原地域においては、今後も人口減少・高齢化が進行すると予想されている。

■長崎県内の人口増減率の状況 (R2/H12)



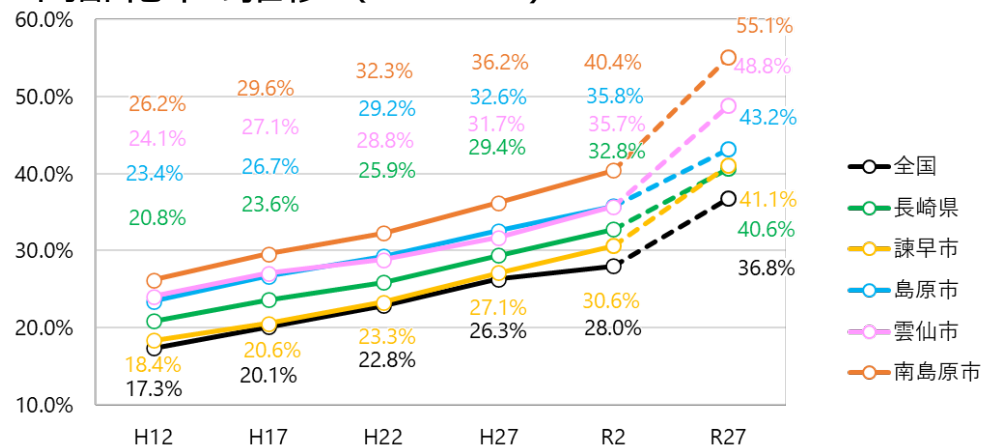
資料: 国勢調査 (R2/H12)

■人口の伸び率 (H12-R2)



資料: H12-R2国勢調査、2045年推計人口 (H12を1.00として表示)

■高齢化率の推移 (H12-R2)

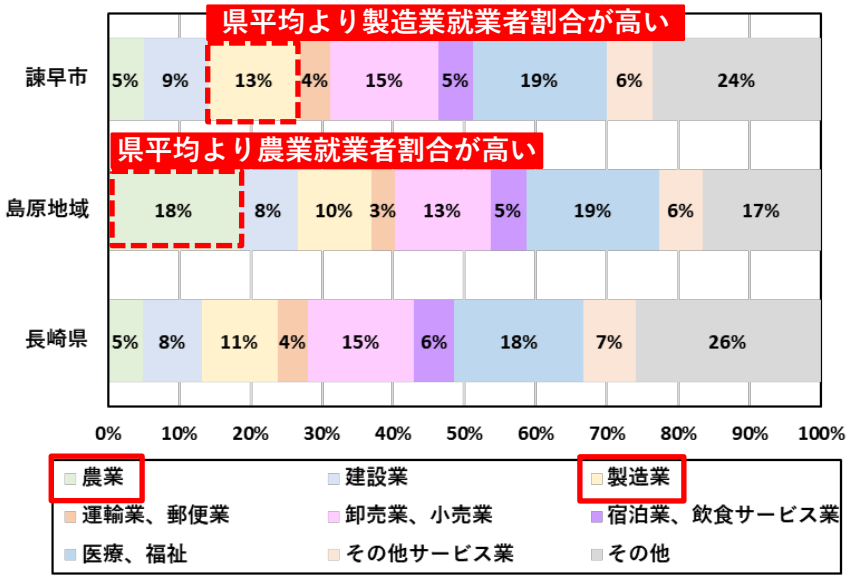


資料: H12-R2国勢調査

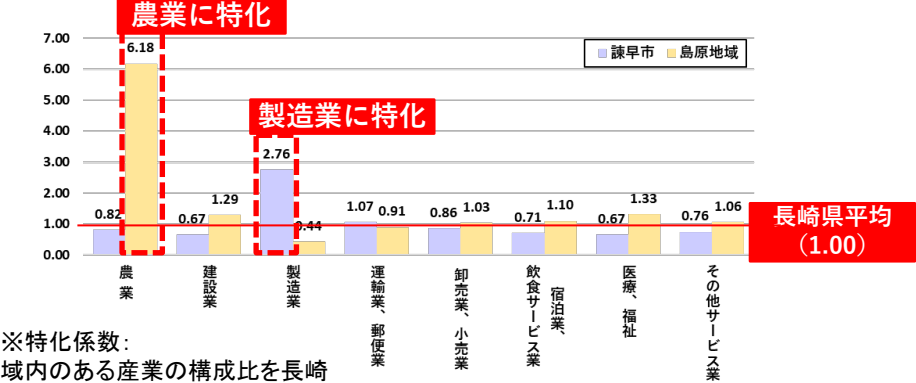
(3) 産業構造

- ・諫早市は製造業、島原地域は農業の就業者人口割合が県平均よりも高く、生産額の特化係数も高い。
- ・諫早市において工業地域は市中心部に集積しており、島原地域は広域に農業地域が分布。

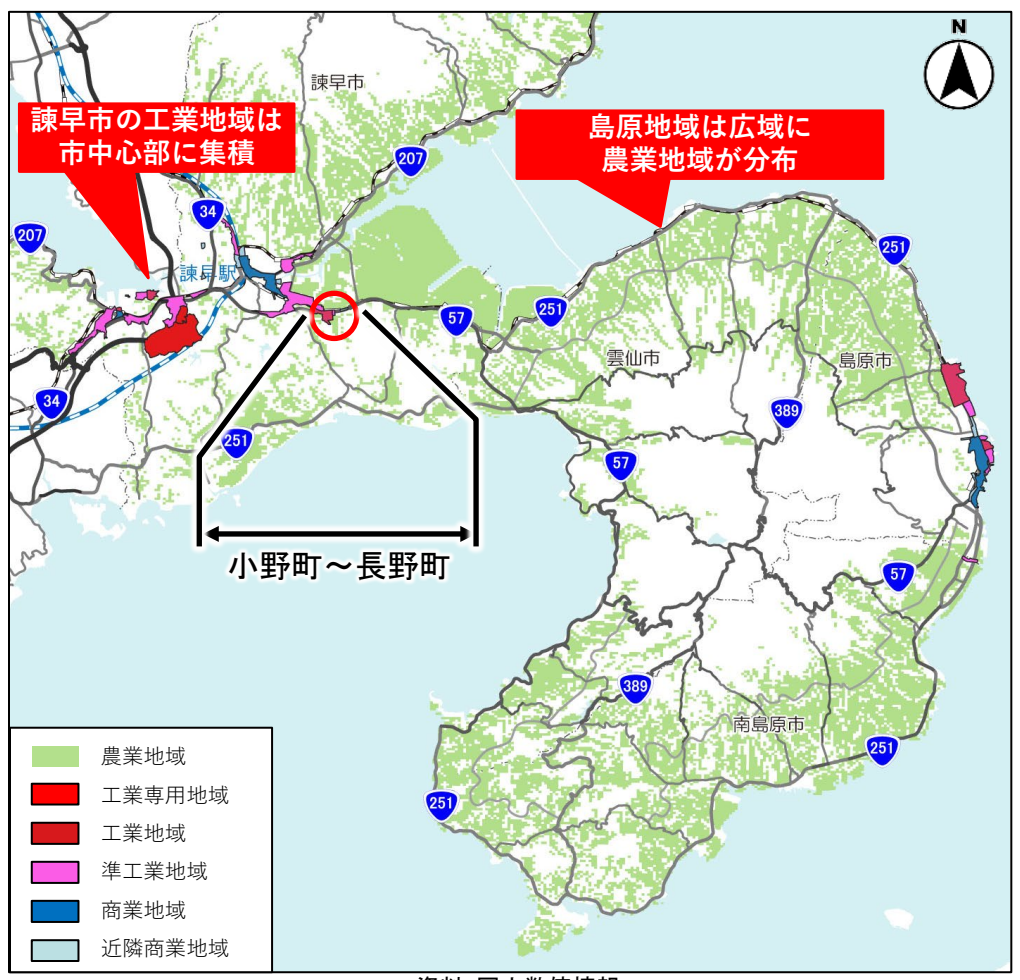
■ 産業別就業者人口割合



■ 生産額の特化係数



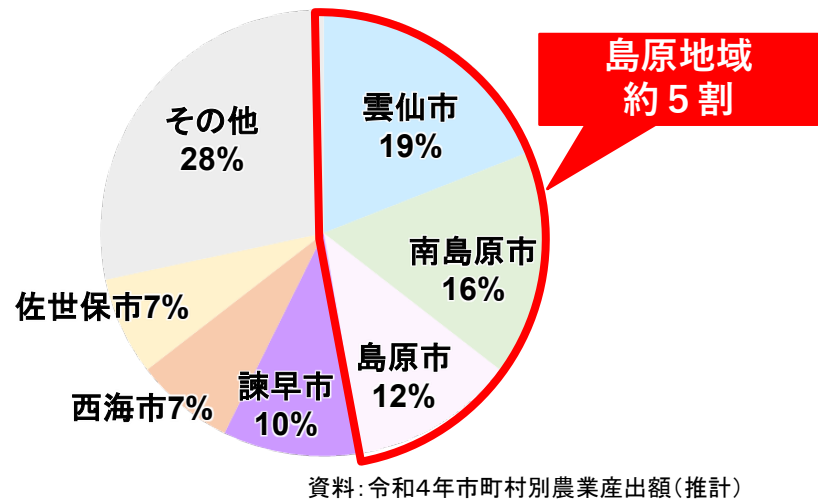
■ 産業別土地利用の状況



(4) 農業

- ・島原地域の農業産出額は、県内の約5割を占めている。
- ・特に、ばれいしょやブロッコリー、いちご等は全国有数の産地となっている。

■ 長崎県の農業産出額の割合

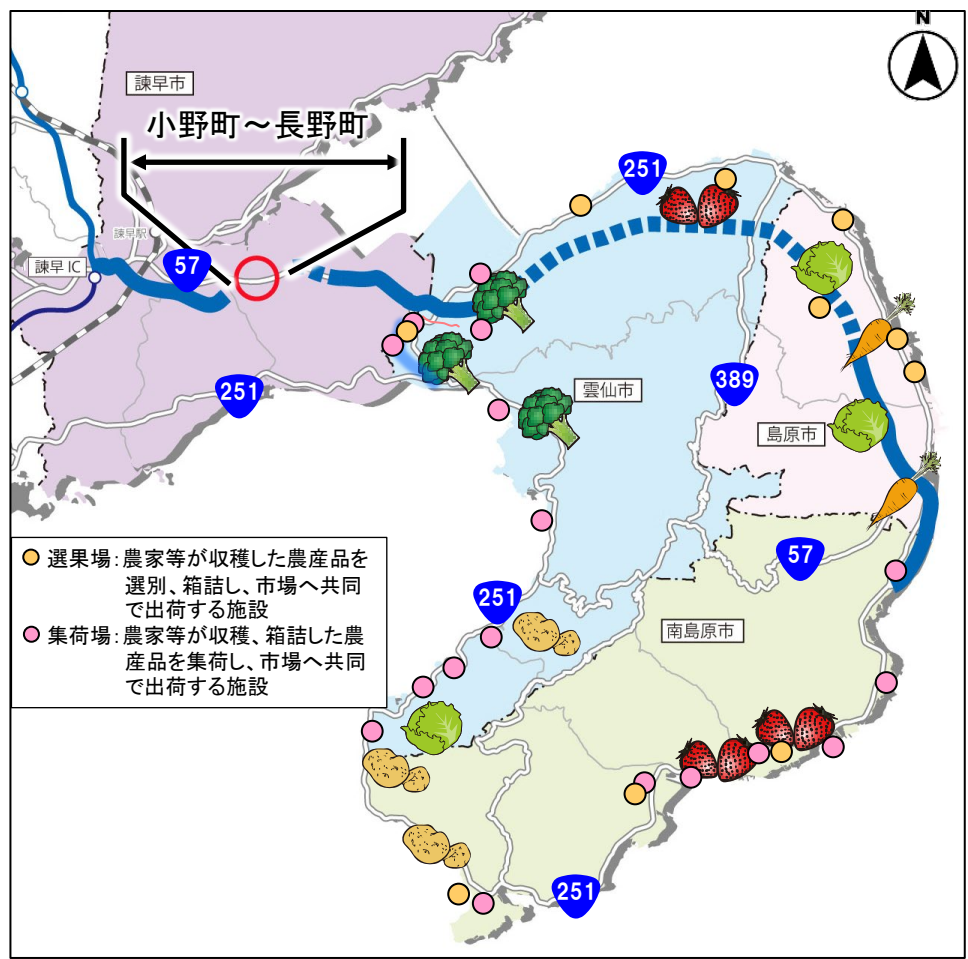


■ 島原地域の主要農産物

市	品目	産出額全国順位
雲仙市	ばれいしょ	1位
	ブロッコリー	4位
	いちご	4位
	レタス	10位
南島原市	ばれいしょ	5位
	いちご	5位
島原市	にんじん	8位

資料: 令和4年市町村別農業産出額(推計)
※市町村別の産出額が全国トップ10となる品目を記載

■ 島原地域の主な農産物の生産地

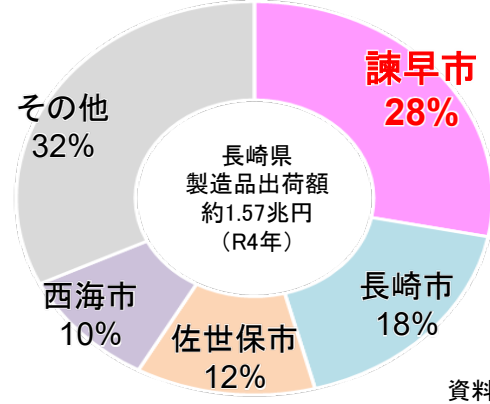


資料: JA島原雲仙ヒアリング調査(R6.10)

(5) 製造業

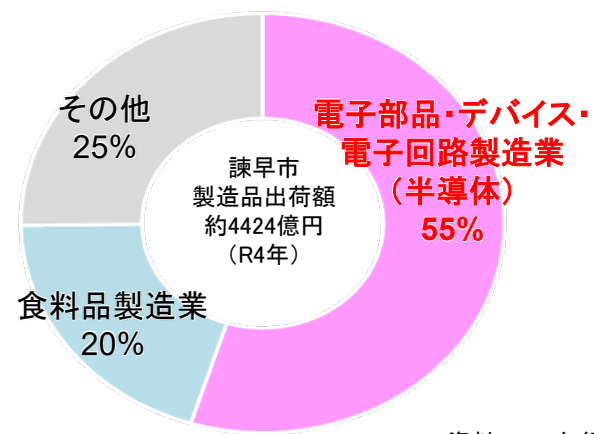
- ・諫早市は製造品出荷額が県内1位であり、約3割のシェアである。
- ・諫早市の製造品は約半数を半導体が占めているが、半導体関連企業の立地は市中心部に集積している状況。
- ・また、島原市において地下水脈が見つかり、半導体産業の誘致するための工業用地を整備する方針。

■ 長崎県の製造品出荷額の割合



資料：2023年経済構造実態調査

■ 諫早市の産業分類別製造品出荷額内訳



資料：2023年経済構造実態調査

■ 半導体関連企業立地状況



資料：九州半導体サプライチェーンマップ(2022年)

2. 地域の現状

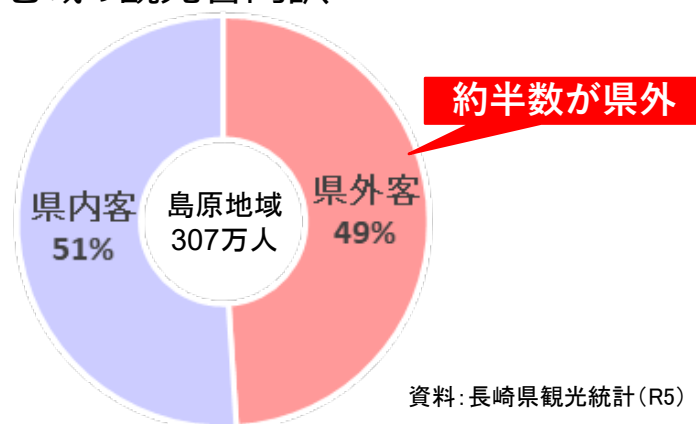
(6) 観光業

- ・島原地域には、世界文化遺産に登録された原城跡や雲仙温泉など歴史や自然・温泉などの魅力ある観光拠点が数多く分布。
- ・年間約310万人の観光客が来訪し、その約半数は県外からの来訪となっている。
- ・観光客の推移は、長崎県全体と比べて伸びが少ない状況となっている。

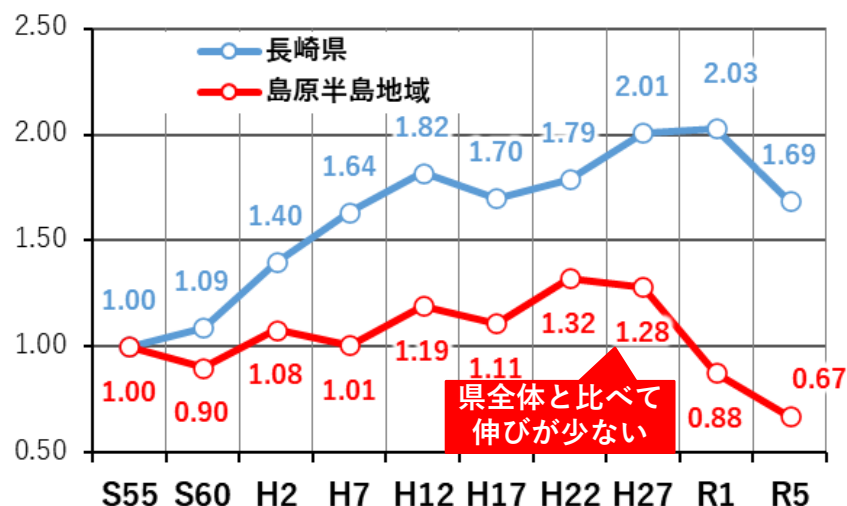
■ 島原地域の観光拠点



■ 島原地域の観光客内訳



■ 観光客数の推移

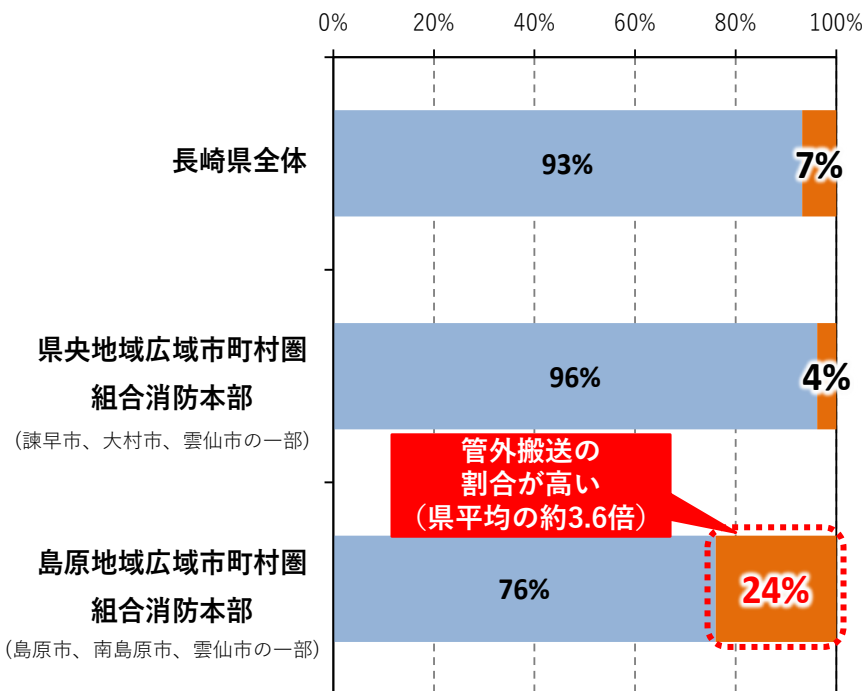


2. 地域の現状

(7) 救急医療

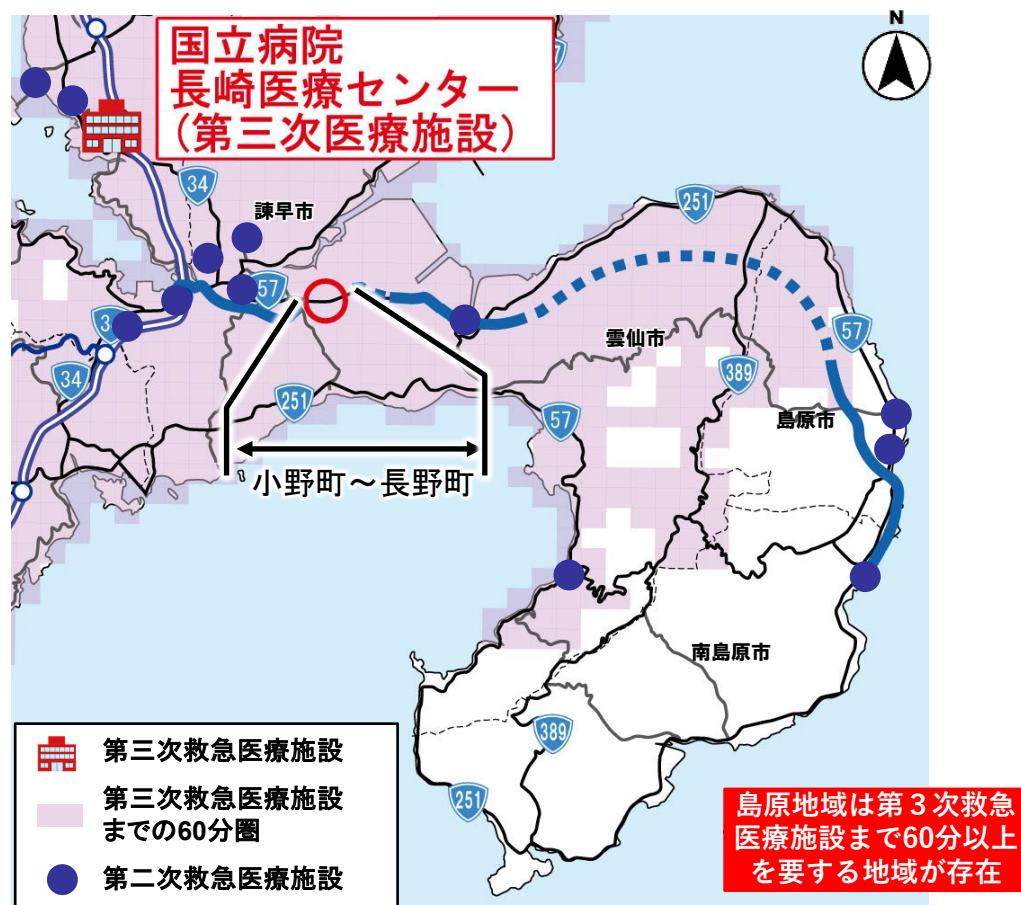
- ・島原地域には高度な医療を提供する第三次救急医療施設がないため、処置が困難な場合は大村市や諫早市などの管外の病院に搬送する割合が高い(長崎県平均の約3.6倍)。
- ・また、島原地域には第三次救急医療施設まで60分以上を要する地域が存在。

■ 救急搬送件数の管内・管外の割合



資料:長崎県消防防災年報(令和2年)

■ 第三次救急医療施設までの時間圏

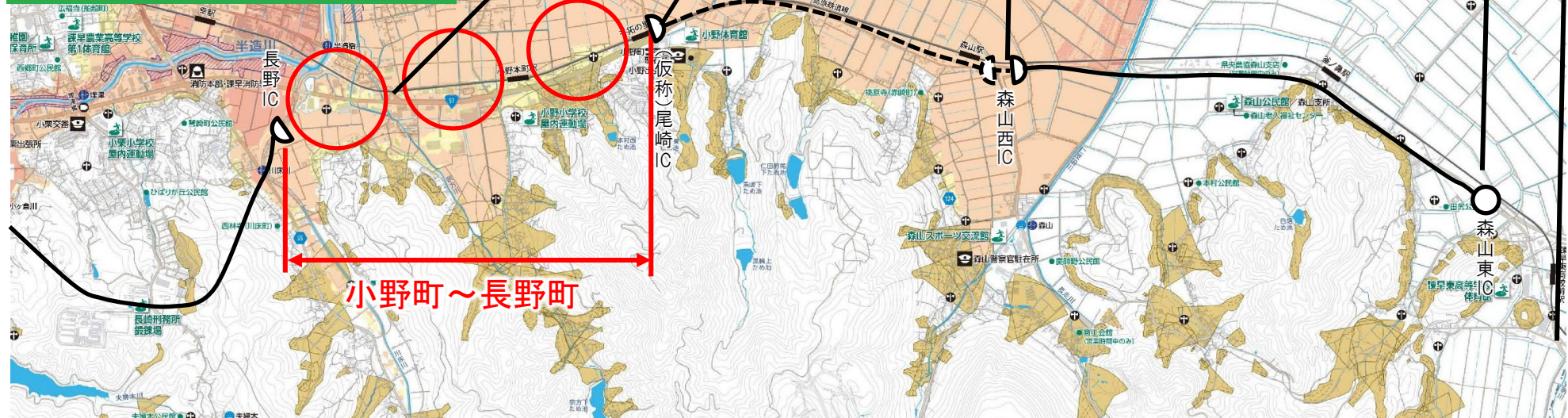


資料:ETC2.0データ (R5.4～R6.3の平日昼間12時間平均)

2. 地域の現状

(8) 災害リスク

・国道57号(小野町～長野町間)は、浸水想定区域に位置付けられている。(最も深い区間で3m～5mの浸水)



資料: 諫早市洪水ハザードマップ (H31)

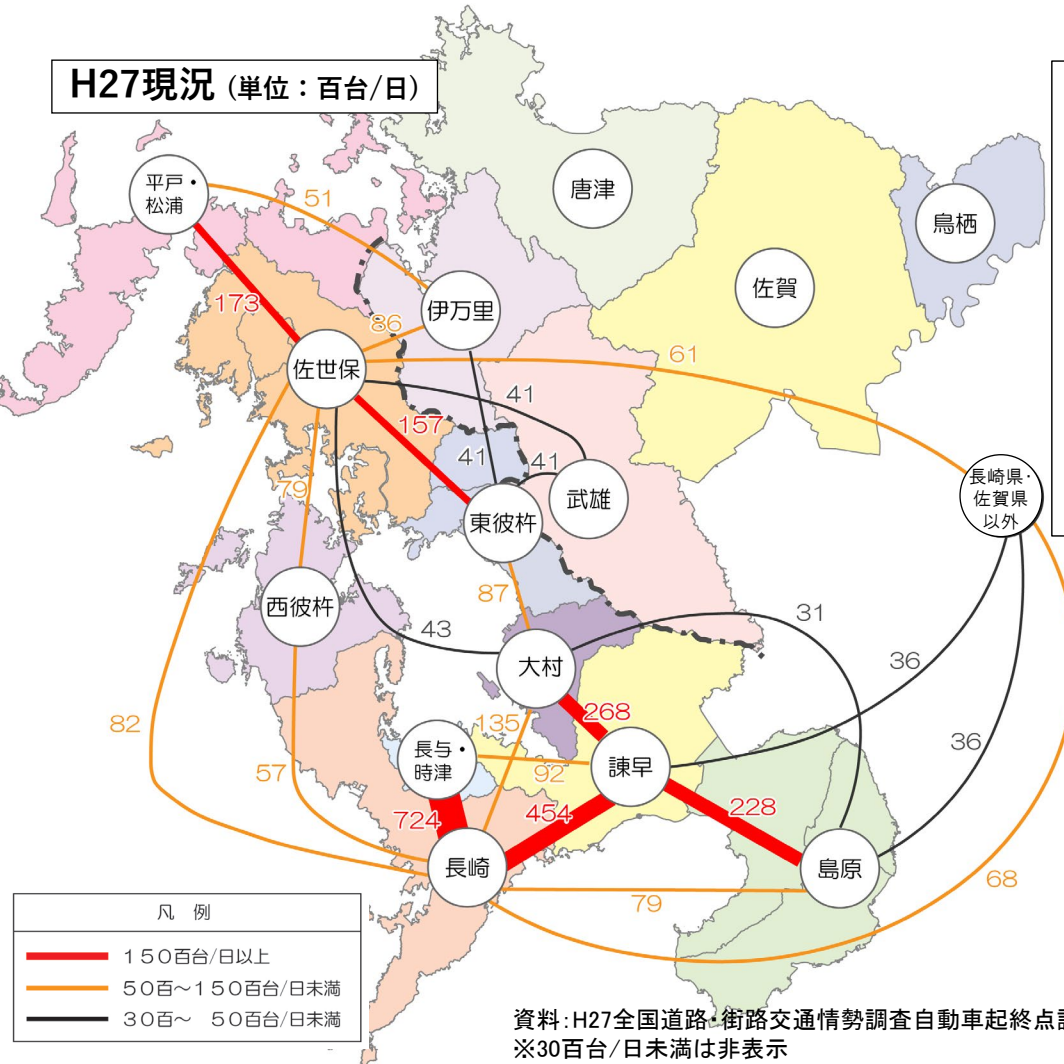
3. 交通の現状

(1) 交通流動

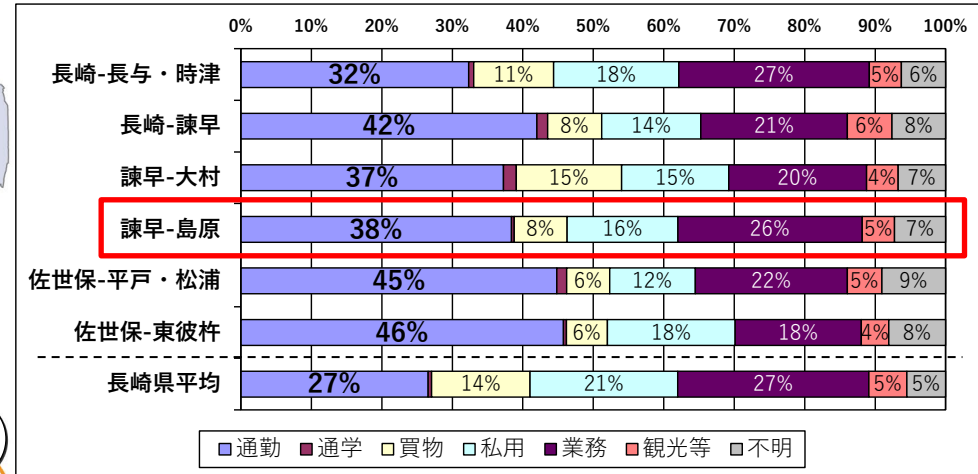
・諫早～島原の自動車流動は228百台/日となっており、主な移動の目的は通勤・通学となっている。

■ 長崎県関連の現況自動車流動

H27現況 (単位：百台/日)



■ 地域間の結びつきが強い区間（150百台/日以上）の自動車利用目的



3. 交通の現状

(2) 交通量

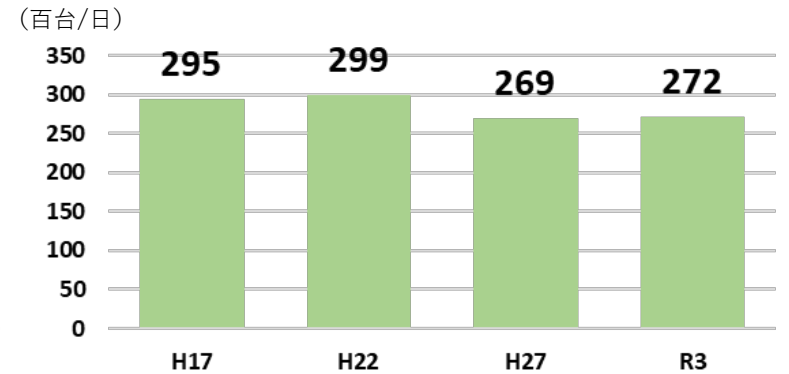
- ・諫早市の国道57号等において交通量が多い。
- ・国道57号(小野町～長野町)の交通量は約3万台/日程度で推移している。

■ 諫早市・島原地域の交通量



資料: 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査

■ 国道57号(小野町～長野町)の交通量推移



資料: 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査

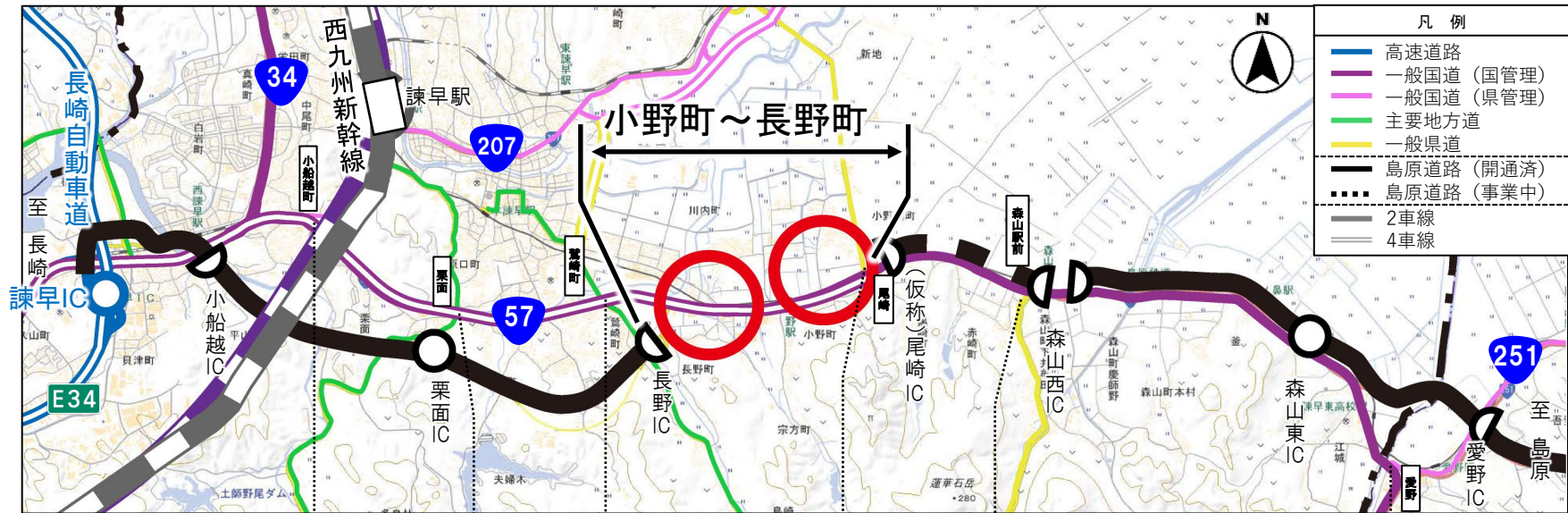
写真(小野町～長野町の交通状況)



3. 交通の現状

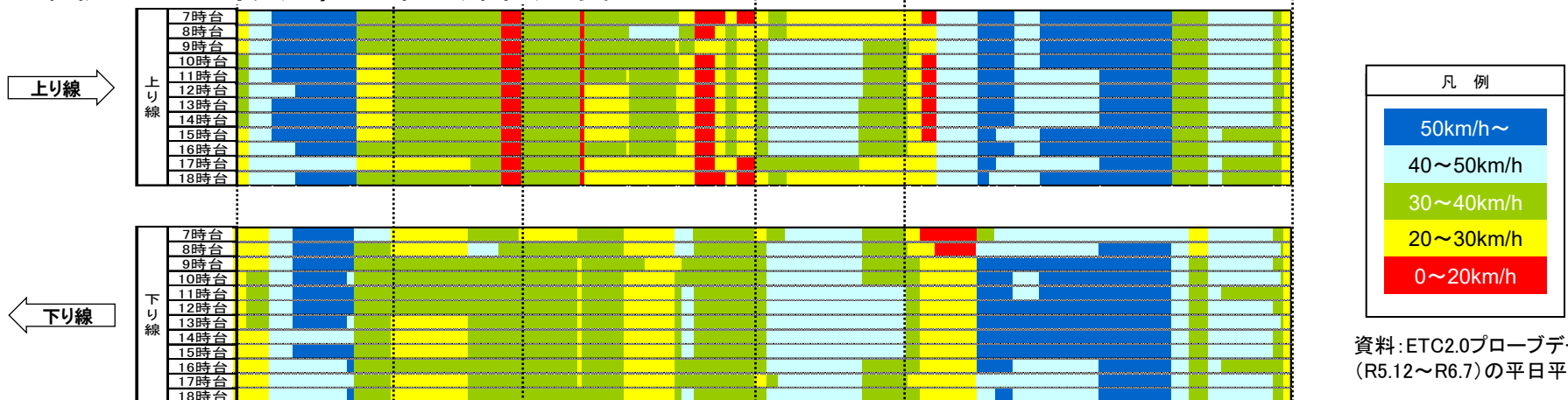
(3) 旅行速度（対象区間周辺平日）

・国道57号（現道）では、小野町～長野町において平日の旅行速度20km/h以下の区間があり速度が低い状況。



■ 国道57号（現道）の平日旅行速度

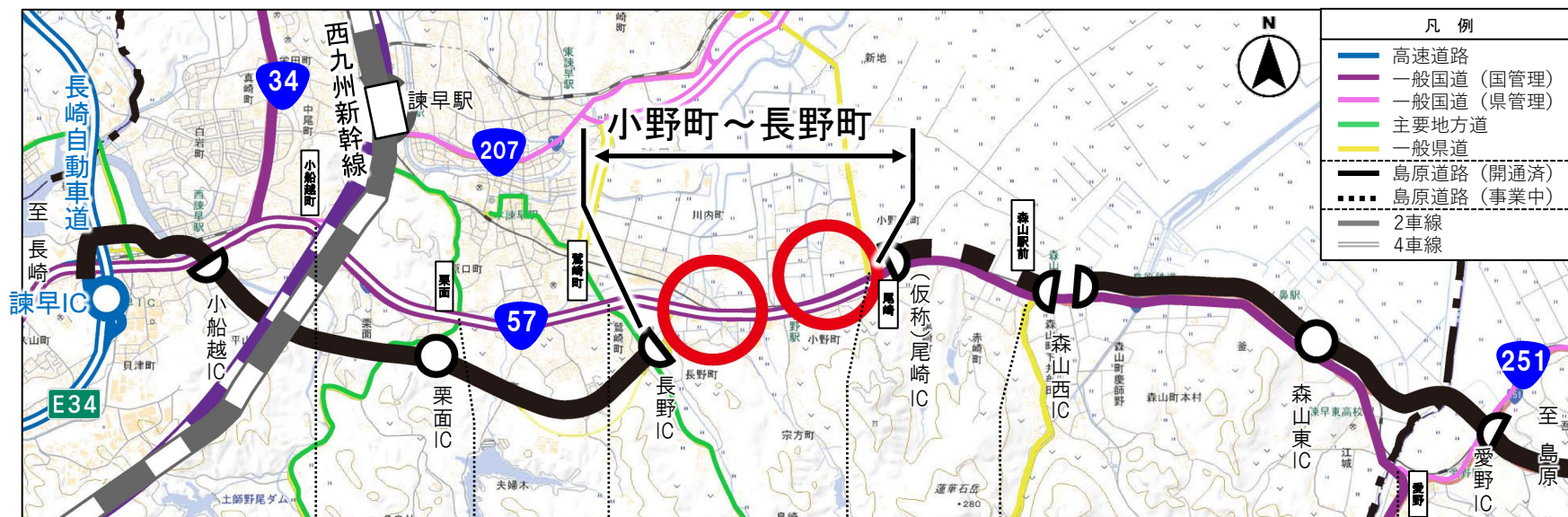
出典：国土地理院地図を加工して作成



3. 交通の現状

(3) 旅行速度（対象区間周辺休日）

・国道57号（現道）では、小野町～長野町において休日の旅行速度20km/h以下の区間があり速度が低い状況。



■ 国道57号（現道）の休日旅行速度

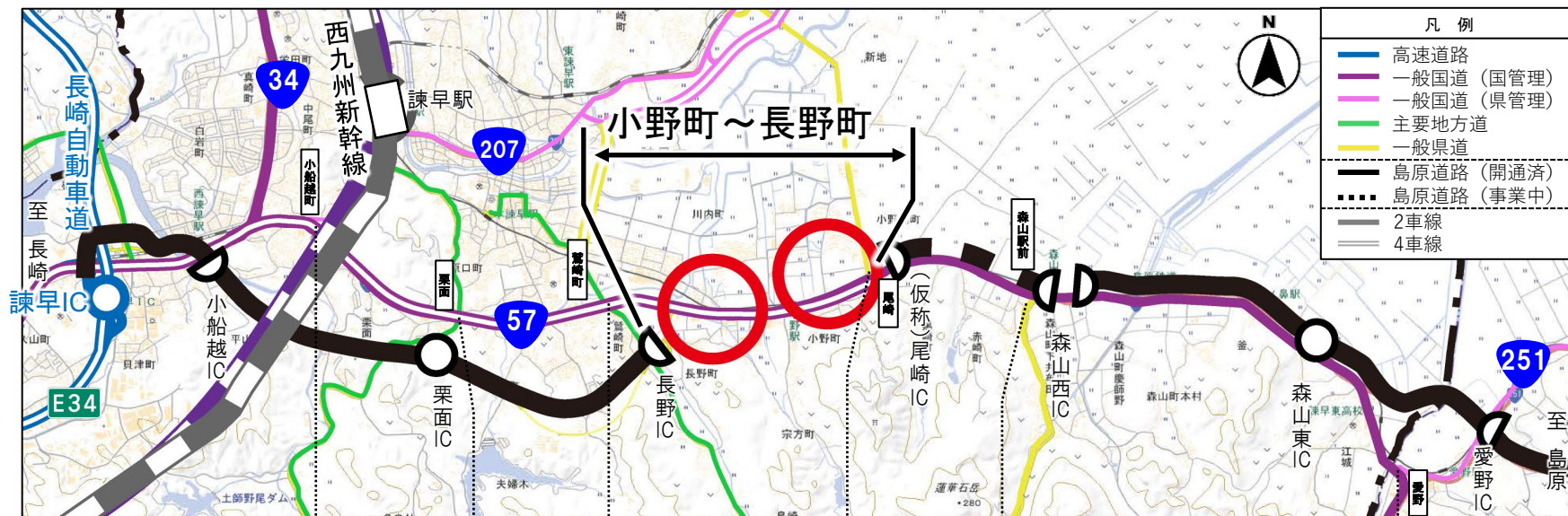
出典：国土地理院地図を加工して作成



3. 交通の現状

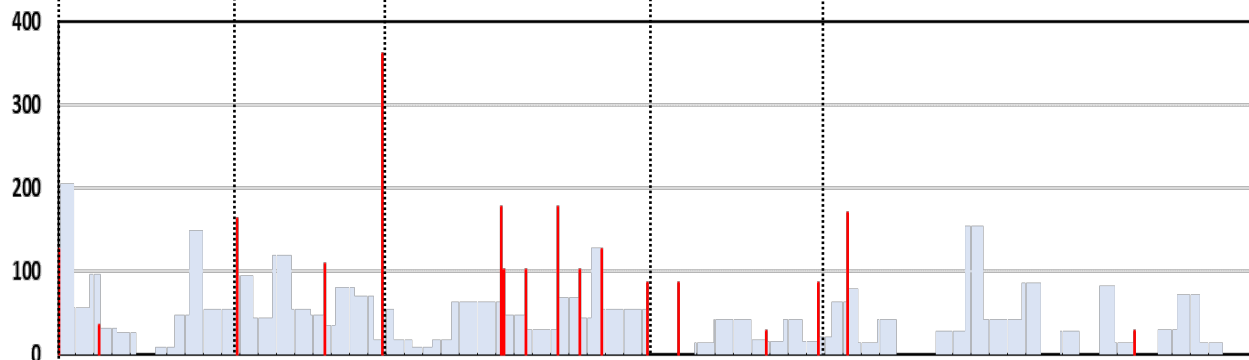
(4) 交通事故

・国道57号(現道)では、小野町～長野町において、死傷事故率が高い交差点が存在している。



■ 国道57号 (現道) の死傷事故率

(件/億台km)



出典: 国土地理院地図を加工して作成

資料: イタルダデータ(R1-R4)

今回(第1回検討会)

- ・幹線道路の整備状況について共有
- ・地域の現状を確認、共有
- ・交通の現状を確認、共有



第2回以降

- ・道路ネットワークの課題
- ・島原道路(小野町～長野町)間に期待される効果